

YOU'S Mail news

2019年3月14日 No. 297

〒530-0012 大阪市北区芝田 2丁目1番18号 (西阪急ビル9F)

・TEL 06-6375-9869 ・JR 071-7155

○発行責任者：新倉 実 ○編集責任者：鶴石 貢

JR西労組中央本部 青年女性委員会

メール登録：<http://wjru.com>



「JR西労組ダイレクトニュース」

第21回医療システムユースフォーラム



3月10日(日)、新大阪丸ビルにおいて「第21回医療システムユースフォーラム」を開催しました。参加者は大阪鉄道病院とJR広島病院で働く青年女性組合員に加えて、JR連合の仲間である名古屋セントラル病院とJR九州病院から3名ずつご参加いただき、総勢41名での開催となりました。

冒頭、新倉青年女性委員長より、働き方改革関連法が成立し、長時間労働の削減や年休5日の取得義務など、私たちの働き方が大きく変化するなかで、労使協議の必要性について、広島鉄道病院の医療法人化のときJR西労組の対応を引き合いに出して訴えた。

また、来賓として中央本部の宮野政策・調査部長から賃金実態調査により、医療職場ではなんらかのハラスメントを受けた経験があるとの回答率が高い傾向にあるが、組合役員への相談件数は少ないことがわかった。組合役員として世話役活動の充実に向け、中央本部も連携して取り組んでいく旨のあいさつを述べられた。

第一部では、JR西労組が顧問契約を結んでいるFPコンサルティングの塩見部長をお招きし、「結婚・出産・育児に備える」と題し、20代向けのファイナンシャルセミナーを実施していただきました。JR西日本、共済会、JR健保の制度などを利用することで、上手に貯蓄することができることを学びました。

第二部では、「みんなで楽しめる青女活動にするため」をテーマに組合役員や、参加者としての一般組合員の立場からディスカッションを実施しました。参加者への声掛けの時期が遅い、組合役員が誰かわからないといった実態把握ができたほか、家族と一緒に参加できるレクの開催や、参加費がかからないように配慮してほしいなど具体的な提言もいただきました。大阪鉄道病院分会、広島病院支部にとっても今後の活動の充実に向けた貴重な意見交換会となりました。

最後に鶴石事務長から、東海ユニオンや九州病院との繋がりができるのは労働組合ならではの、青女活動を通じて多くの仲間づくりをしていただきたいと挨拶を述べ、閉会となりました。



アイスブレイクで雰囲気づくり



ゲームで組合の勉強ができないかな？